

2024年11月期ハイキング「高崎・観音山」の報告

実施担当：美術工芸科

2024年11月1日(金)、心配していましたが天気にも恵まれ、高崎市のシンボルとして高崎を見守りつづけている白衣観音周辺を、秋の深まりを感じつつ散策してきました。

10時10分に高崎駅西口に集合しミーティング後、参加者10名でスタートしました。



10時10分：高崎駅西口に集合し、朝のミーティングを行う



広大な関東平野の北端に位置と、群馬県を代表する都市の表玄関として象徴的な高崎駅



循環バス「ぐるりん」を待つ参加者



「ぐるりん」は意外に利用が多く、市役所、医療センター等を経由して巡り、市民の足として親しまれている様でした



10時45分：観音山入口の「清水寺」からハイキング開始。



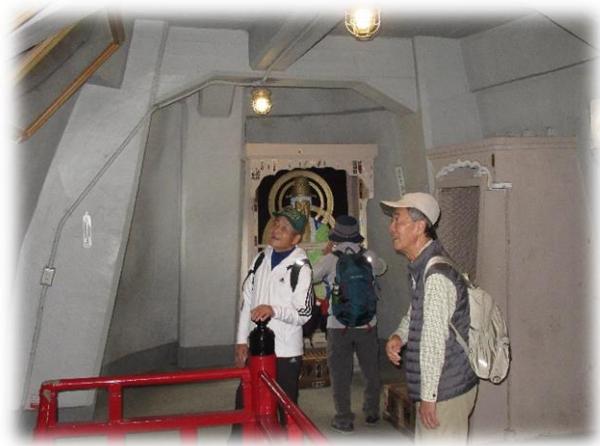
「清水寺」参道の急な石段を登る。散歩していた人によると高低差はビルの 27 階に相当するとの事



11 時：ようやく「清水寺」に到着し参拝する。
皆さんかなり疲労困憊した様子です



11 時 20 分：白衣觀音に到着。上毛カルタに「白衣（びやくい）觀音慈悲の御手（みて）」と謳われているとおり、白い衣と白い布を被ったその上品な姿は、清らかな心を表し、觀音様の優しいまなざしは、慈しみ深く心が洗われるような穏やかな気持ちになりました



観音様内部の「胎内拝観」をしました。胎内には数多くのカラフルな仏像や僧像が安置されていました



胎内の頂上から見た浅間の山景と高崎市街



12時5分：白衣大觀と染料植物園を結ぶひびき橋を渡る



12時10分：ひびき橋を渡った先の東屋で昼食をとる



12時50分：染色工芸館に到着。草木染の織物や、身近に生育する様々な草や木の染料植物による見本糸がすばらしい色彩に染め上げられ、植物の持つ色の優しさや奥深さを感じることができました。



13時30分：洞窟観音に到着し、集合写真を撮る



洞窟観音を参拝する。約 400 メートルの洞窟は 50 年間、動力や機械を使わず、つるはしやスコップ等で掘ったとのことで、その根気強さに感心させられた。

洞窟内には、たくさんの観音像があり(全部で 39 体あるとのこと)、洞窟の雰囲気とマッチして幻想的な空間が広がっていました



洞窟観音と隣接する徳明園。枯山水庭園や苔庭、池泉回遊式庭園などがあり、楓の木も多く紅葉時の美しさを彷彿させられる



14時30分：予定していたコースを巡り終え、帰りのバス停に向かう



15時40分：予定通りの時刻に高崎駅に戻り、最後の挨拶後に解散となる

15時40分：予定通り高崎駅に戻り解散となりました。出だしは急な長い階段で辟易としましたが、白衣観音様の優しいまなざしや洞窟観音を参拝し、心が洗われるような穏やかな気持ちになれた事と思います。秋も深まり寒さも増してきましたが、風も無く穏やかなハイキング日和で楽しい一日を過ごせたと思います。

次回 12月6日(金)は、「館林市の街歩き」の予定です。寒さに負けず奮って参加しましょう。

記：笹沢